

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第39週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が10例あり、2021年の累積報告数は5,245例となった。

全数報告の感染症 (39週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：ウイルス性肝炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘(入院例)1例、梅毒4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	発熱
4類	日本紅斑熱	日南	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	40歳代	男	B型	嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	ショック、腎不全、DIC、中枢神経症状
	水痘(入院例)	宮崎市	20歳代	男	臨床診断例	発熱、発疹
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
30歳代			男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹	
40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹			

新型インフルエンザ等感染症 (39週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	報告数						症状
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	70歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	5例		2	2	1		発熱、咳、全身倦怠感、頭痛等
	都城	1例				1		
	延岡	1例	1					
	日向	3例	3					

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は473人(定点当たり13.5)で、前週(祝祭日の休診含む)比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

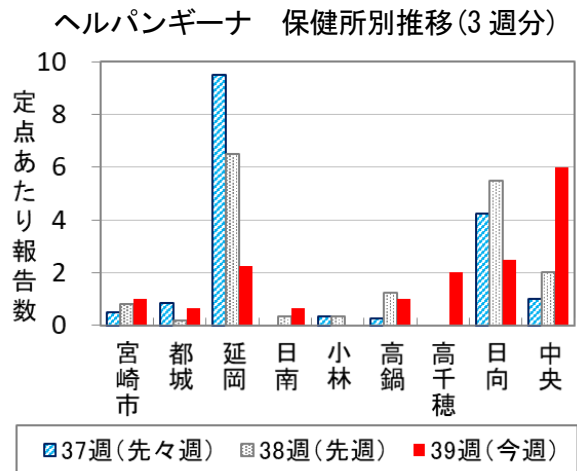
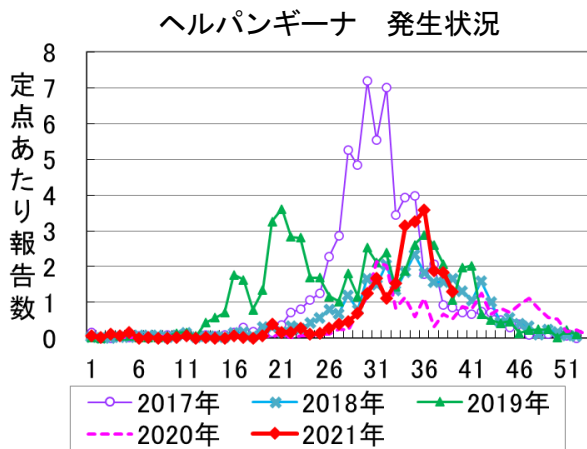
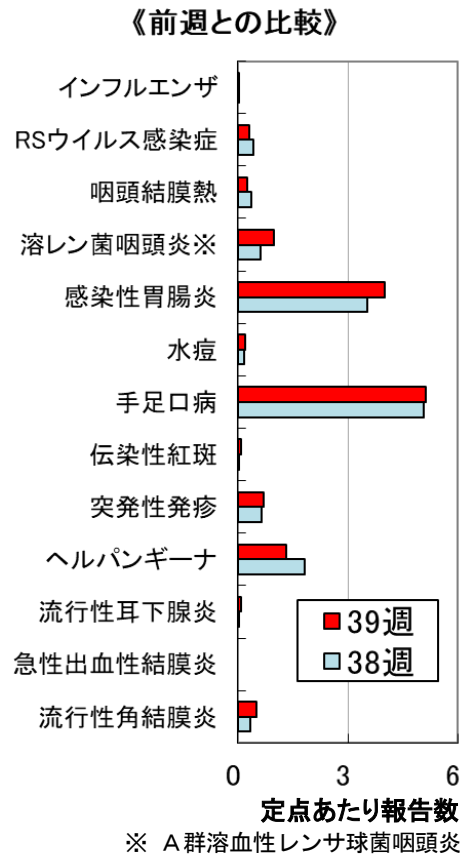
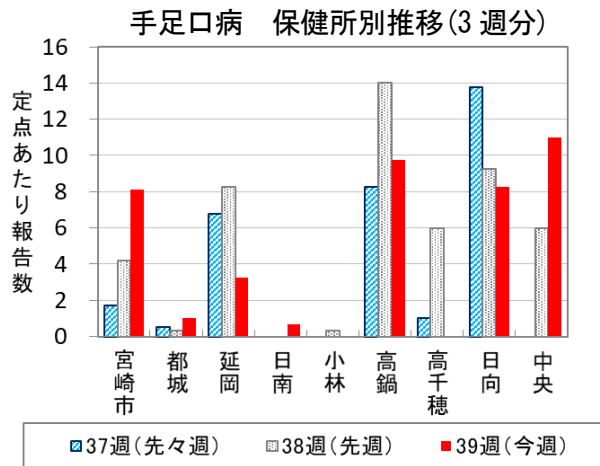
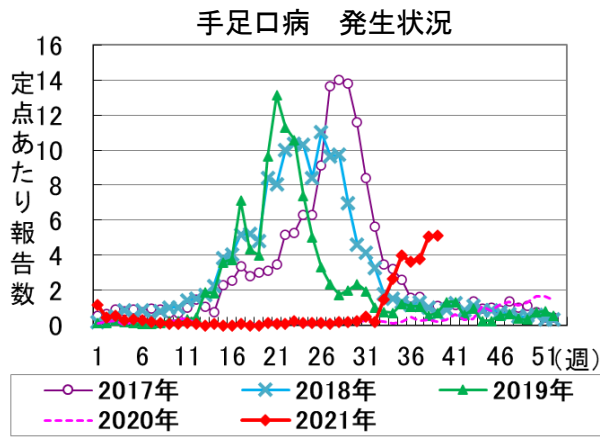
【手足口病】

報告数は185人(5.1)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約4.3倍であった。中央(11.0)、高鍋(9.8)、日向(8.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は47人(1.3)で、前週比71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約1.2倍であった。中央(6.0)、日向(2.5)、延岡(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(8.1)
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.3)
小林	なし
高鍋	手足口病(9.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(8.3)
中央	手足口病(11.0)、ヘルパンギーナ(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

🇯🇵 全国 2021 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	145 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	67 例				
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	日本紅斑熱	7 例	レジオネラ症	35 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例	急性脳炎	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	5 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	5 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	66 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	8 例	風しん	1 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 84%と減少した(祝祭日の休診含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は 5,916 人(1.9)で前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約 0.7 倍であった。徳島県(6.6)、大分県(4.9)、福岡県(3.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

手足口病の報告数は 3,109 人(1.0)で前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 0.7 倍であった。大分県(8.4)、福岡県(8.1)、熊本県(5.6)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第39週(09月27日～10月03日)

疾病名		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.02	0.02	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	15	11		8	1		1			1	
	定点当り	0.42	0.31	0.00	1.33	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	9	7	2							
	定点当り	0.36	0.25	0.70	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	22	35	4	3	2	20					6
	定点当り	0.61	0.97	0.40	0.50	0.50	6.67	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	127	144	27	43	3	17	19	10	3	19	3
	定点当り	3.53	4.00	2.70	7.17	0.75	5.67	6.33	2.50	3.00	4.75	3.00
水痘	報告数	6	7	1			4		2			
	定点当り	0.17	0.19	0.10	0.00	0.00	1.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	183	185	81	6	13	2		39		33	11
	定点当り	5.08	5.14	8.10	1.00	3.25	0.67	0.00	9.75	0.00	8.25	11.00
伝染性紅斑	報告数	1	3	3								
	定点当り	0.03	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	25	13	1	8		2	1			
	定点当り	0.64	0.69	1.30	0.17	2.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	66	47	10	4	9	2		4	2	10	6
	定点当り	1.83	1.31	1.00	0.67	2.25	0.67	0.00	1.00	2.00	2.50	6.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3				1				1	1
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	3	2	1							
	定点当り	0.33	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～39週)

2類感染症	結核	99例(1)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例	
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	12例
	日本紅斑熱	12例(1)	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例(1)
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例(1)	梅毒	67例(4)
	破傷風	3例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5245例(10)		

()内は今週届出分、再掲